



横浜市南区宮元町4丁目83番地 郵便番号223-8515 大山祇命神示教会神務本部 編集 電話 045-731-5373 ©大山祇命神示教会 2019

仕合せの基は和のある家庭 家族で「教え」を学ぶ 「真理」で心重なる家庭を 家族で目指す 縁者の心は重なり 支え 補い合って 仕合せの輪が広がっていく

教えを支えに生きる

縁を生かす心の動き

運命を重ねて喜びが

毎日、社会ではさまざまなことが起っています。そうした現実を真理を通して見詰めてみると、道理にかなうこと、あるいは道理から外れていることなど、見極めることができます。自身の身の上も、真理を軸に判断すれば、迷いはありません。運命全体で回る世の中、教えを心の支えに生きることで、必ず救われていくのです。

実践の努力に 守りは大きく 世の中は大きく変わりつつあると、神は再三お教えくださいます。世界の政治動向も、経済の状況も、どの分野も変化の渦が押し寄せています。この国でも不安定な要素を多く抱える中、日

感謝を届ける 光寿信者参拝時 神魂に心の成長を報告 故人 先祖に安心感を



心を高めて報告と感謝の真心を

光寿の時を迎え 信者は神に「心」預けて歩みし一年 我が「心の姿」を振り返り 報恩の思いも高まって、開運に近づいていくことが大切です。

繰り返す季節の移り変わりの中で、着実に向上させて、感謝の思いも、報恩の思いも高まって、開運に近づいていくことが大切です。



仕合せな姿を故人の魂に



使者を通して表される神示を深く

実体を修正し 運命に重なる 神は、使者を通して、神示、真理を表されています。真理こそ、普遍であり、誰も救われる基盤です。知識、情報をはじめ、他のものに心を奪われ、頼り過ぎると、迷いを深めるばかりです。

心が安定して 正しい動きが 互いを生かし 生まれる喜び 人生が変わる価値を 神所を求め 心を前進

両親が子供の教育者 愛の中で教えを基に

人生の土台を築くのが 春の年代。三十を過ぎれば、社会の中軸として活躍する夏の年代となりま

神示 夫婦二人で築く家庭が 家庭の「信頼」に込めるため 社会を正しく歩む

神示 夫婦二人で築く家庭が 家庭の「信頼」に込めるため 社会を正しく歩む

世界共通の真理を広く 『理知の真理』を英訳 『The Basic Principles — Family, Health, and Work—』

育の重みを認識することです。学校教育は、同年代の子供を集め、知識とともに、共同生活の在り方を教えます。

神示 夫婦二人で築く家庭が 家庭の「信頼」に込めるため 社会を正しく歩む

存在を輝かせる人へ

誰もが願ってやまない平和な社会は、どうすれば築けるでしょうか。互いの良さを生かして、毎日楽しく穏やかに暮らすには、何が必要でしょうか。

家族と触れる 思いを深めて

社会の最小単位は、家庭です。思いを語り、互いを理解し合う環境の中で、家族の心は安定します。

社会と調和し 周りを笑顔に

人にも、物にも思いを込める生き方が、互いの心を豊かに潤しています。

神総本部に新工場が 神の愛を届ける品を

令和元年五月、神総本部愛光会館の並びに新作、また発行物の印刷を

愛の心が深まる儀式 家族の絆も一層強く 生きる喜びが膨らむ

神示教会では、人生のさまざまな節目に儀式を行っています。神のご守護の中で節目を迎えた喜びを、家族と共に感謝して、我が家の心の道をたくましく歩んでいくことに、悔いのない人生が歩めます。

親子で一緒に成長を

縁あって巡り合った二人の結婚で、新しい家庭が生まれます。やがて子供が誕生すれば、夫婦から親子へと生活が広がります。さまざまな変化の中で支え合いながら、家族の心の結び付きが堅固なものになっていきます。

我が子を母胎に授かった夫は、安産を願って福帯の儀を受けました。初産に不安を感じる妻は、儀式を受けて、「良い子が育つようにおなかの子を守ってほしい」と、母親となる覚悟ができました。けなげな姿を見て、夫



夫婦の愛が結実する光輪の儀

「お父さんは仕事で忙しいから、お母さんがいるから仕事」との答え、もつと夫に尽くそうという思いが強く残りました。結婚五十周年を迎えた夫婦は、光輪の儀に臨みました。夫から「長年支えてくれてありがとう。心は今も結婚した時のまま、十年後、二十年後、二人

育った二十代の女性は、働きながら独学で司法試験に合格。何度も挫折し、とうとう心を支えたのは、左腕で学んだ教養と父の存在でした。



教えに生きる心を広げて

したり、乱暴な態度を取る子供もいます。嫉妬して感情をぶつけてきた時には、「この子も寂しいのだ」と感じ、自分から歩み寄ってきました。信頼関係ができると、子供の心は安定。障害のある同級生を優しい言葉で励ますように変わりました。

夫の遺志を受け継ぎ、女性初の役員として誇りを持って務めています。周りが注目され、求められる人には、感謝、奉仕、愛の心が深く根付いているのです。

母に次いで係へ就職しました。神示教会の係は、まさに教えで生きる奉仕者です。品性の高い生き方の手本として徳を養い、家族や子孫を仕合せにします。愛に満ちた人生は、神の救世をかなえる姿と言えるでしょう。

石川県 伊藤 恵 偉光郷の研修会 研修会に参加しました。偉光郷で、夏の年代の研修会に参加しました。

長野県 池上利恵子 夫婦共働きの、七歳と五歳の子どもを育てています。他の子と比べて落ち着きがなく、言うことを聞かない我が子に悩み、偉光郷に行きました。

福岡県 今宮佳子 人と関わるのが、夫婦ともに苦手でした。その上、夫は短気です。怒られるのが嫌なので、夫婦の会話も少なく、もう一緒にやっていたくないと思つたほどです。

発達障害の児童を支援するアシスタントの女性は、毎日子供たち一人一人の心向きを伺っています。神示教会のレット症候群を患った女の子は、目の動きだけで思いを読み取りました。

「本心の叫びを受け止めて」と祈願しながら接している、今までになく感情を出して甘えられるように、子供の純粋な目に、こちらの心が見抜かれていくような緊張感を覚えます。

「神の愛を届ける品を」と、御神体、御神居、御神居も、安寿居も、また信杯も、製作業務の拠点の荘魂会館

入魂に当たっては、清そし三和飾り、神飾りも、神が示された意匠で、職員は、神の意に沿って製作しています。真心を込めて製作している。

「目からうろこ」 偉光郷の研修会 研修会に参加しました。偉光郷で、夏の年代の研修会に参加しました。

素直な心で学び 教えが支えに 北海道 野田公博 二年前、勤務先の工場に任命されました。気が仕事が増え、プレッシャーに押しつぶされそうでした。今は、神の教えで考え方を確認し、祈願で心を立て直せることに決まっています。

大きな病でも 夫婦二人三脚で 福岡県 今宮佳子 人と関わるのが、夫婦ともに苦手でした。その上、夫は短気です。怒られるのが嫌なので、夫婦の会話も少なく、もう一緒にやっていたくないと思つたほどです。

廿七の味かせ方 「自分」という花の咲かせ方 一生生きる意味を見詰め直す

毎日の生活にちりばめられている真理。見えないけれど確かに存在するこの世の仕組みを知ってれば、日々の過ごし方が変わってきます。そこに、出てくる結果も違ってくるでしょう。

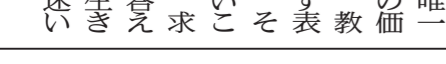
人生の保証とは？ 持ち前の良さが光れば 人生は、長くて百年前後。悠久に続く自然界では、一瞬の出来事といえるでしょう。その貴重な時間の中で、仕合せ、幸福を保証してくれるものは、何でしょうか。

「力」を重ね 補い合うことを知った社会は 全ての存在が光り輝き 広がる「喜び」が 運命という言葉には、マイナスのイメージを持つ人もいます。しかし、神が言われる運命は、人生を悔いなく歩み抜く

「運命」は、人物全ての命に 神が与えた「力」である 「力」を重ね 補い合うことを知った社会は 全ての存在が光り輝き 広がる「喜び」が 運命という言葉には、マイナスのイメージを持つ人もいます。しかし、神が言われる運命は、人生を悔いなく歩み抜く

「我が子に向くのは…」などと、冷静に見詰め直しましょう。「何て歯切れの良い話し方…」と、思つてまねてみたものの、演じているようで疲れてしまった人がいます。ある時、「ゆつたりした口調に癒やされる」と褒められ、自分の持ち味に気付きました。持つて生まれた良さが光れば、それが確かな自信となります。

神示を頂点とする唯一無二の神示教会。その価値は神示から絶えず表され続けている神示。そこに、人々が知りたいこと、つかみたいこと、求めていること、その答えがあります。神示に生きれば、人生に何一つ迷いはないのです。



編集後記